



1. 建物概要

建物名称	株関東精工O棟	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	---------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.5	/5	がんばろう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.6	/5	がんばろう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.8	/5	がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	内訳対応項目									
	得点					2.5				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)	<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 使用材料を精査した。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 建物周囲は十分な空間を確保した。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) 照明器具はLEDを使用。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 有害物質を含まない材料を使用している。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 騒音及び汚染物質は発生しない。駐車場は十分に確保している。</p>									
	Q-1 2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	Q-1 3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
				③	昼光制御		3.2	3.2.1	④	躯体材料の耐用年数
	Q-2 2	2.2	2.2.1	⑤	外壁仕上げ材の補修必要間隔	Q-2 2.2	2.2.1	2.2.2	⑥	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
				⑦	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.2.3	2.2.4	⑧	空調換気ダクトの更新必要間隔
				⑨	空調・給排水配管の更新必要間隔		2.2.5	2.2.6	⑩	主要設備機器の更新必要間隔
	Q-3 1			⑪	生物環境の保全と創出	Q-3 3	3.2		⑫	敷地内温熱環境の向上
	LR-1 1			⑬	建物外皮の熱負荷抑制	LR-1 2			⑭	自然エネルギー利用
				⑮	設備システムの高効率化	LR-1 3			⑯	モニタリング
				⑰	運用管理体制	LR-1 4	4.1	4.2	⑱	運用管理体制
	LR-2 1	1.1		⑲	節水	LR-2 1.2	1.2.1	1.2.1	⑳	雨水利用システム導入の有無
				⑳	雨水利用システム導入の有無	LR-2 1.2.2			㉑	雑排水等利用システム導入の有無
	2	2.1	2.1.1	㉒	既存建築躯体等の継続使用	LR-2 2.1.1			㉓	材料使用量の削減
				㉓	材料使用量の削減	LR-2 2.1.2			㉔	既存建築躯体等の継続使用
				㉔	既存建築躯体等の継続使用	LR-2 2.1.3			㉕	躯体材料におけるリサイクル材の使用
				㉕	躯体材料におけるリサイクル材の使用	LR-2 2.1.4			㉖	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
				㉖	躯体材料以外におけるリサイクル材的使用	LR-2 2.1.5			㉗	持続可能な森林から産出された木材
				㉗	持続可能な森林から産出された木材	LR-2 2.1.6			㉘	部材の再利用可能性向上への取組み
	3	3.1		㉙	有害物質を含まない材料の使用	3	3.1		㉙	有害物質を含まない材料の使用
				㉙	有害物質を含まない材料の使用	3.2	3.2.1		㉚	消防剤
				㉚	消防剤	3.2.2			㉛	断熱材
				㉛	断熱材	3.2.3			㉜	冷媒
	LR-3 1			㉝	地球温暖化への配慮	LR-3 2	2.2		㉞	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)	<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 建築基準法に定められた耐震性を有する。</p>									
	Q-2 2	2.1	2.1.1	㉟	耐震性	Q-2 2.1.2			㉟	免震・制振性能
				㉟	免震・制振性能	Q-2 2.4.1			㉟	空調・換気設備
				㉟	空調・換気設備	Q-2 2.4.2			㉟	給排水・衛生設備
				㉟	給排水・衛生設備	Q-2 2.4.3			㉟	電気設備
				㉟	電気設備	Q-2 2.4.4			㉟	機械・配管支持方法
				㉟	機械・配管支持方法	Q-2 2.4.5			㉟	通信・情報設備
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	<p>■サービス性能対策 (⑪機能性・使いやすさ/⑫心理性・快適性/⑬空間のゆとり) 用途が倉庫のため内部空間は十分な広さがある。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑭地域性・アメニティへの配慮)</p>									
	Q-2 1	1.1	1.1.3	㉟	ユニバーサルデザイン計画	Q-2 3	3.1	3.1.1	㉟	高齢者のゆとり
				㉟	高齢者のゆとり	Q-2 3.1.2			㉟	空間の形状・自由さ
	Q-3 3	3.1		㉟	空間の形状・自由さ	Q-3 3.2			㉟	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)	<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥まちなみ・景観への配慮/⑦敷地内温熱環境の向上)</p>									
	Q-3 1			㉟	生物環境の保全と創出	Q-3 2			㉟	まちなみ・景観への配慮
				㉟	まちなみ・景観への配慮	Q-3 3	3.2		㉟	敷地内温熱環境の向上
	LR-3 2	2.2		㉟	敷地内温熱環境の向上	LR-3 2.2			㉟	温熱環境悪化の改善